

取扱説明書

Ultra HD Blu-ray再生対応外付ブルーレイディスクドライブ
BRD-UT16LX

レシートや納品書を大切に保管してください
レシートや納品書などご購入日を証明するものが、修理の際に必要になります。

各部の名称・機能

※ ランプやボタン等の位置が、実際の商品と異なる場合があります。

緊急イジェクトホール
トレイが開かなくなった場合に使用します(針金などを挿します)。

アクセラランプ
アクセス時:点滅

イジェクトボタン
押すとトレイが開閉します。

Powerランプ
電源オン時、以下のように点灯します。

	メディア入	メディア無
USB 3.0接続時	青色	薄青色
USB 2.0接続時	黄緑色	薄黄緑色
未接続時	青色※	薄青色

※ メディアが入っていてもPowerランプが薄青色のままになる場合があります。

▼背面

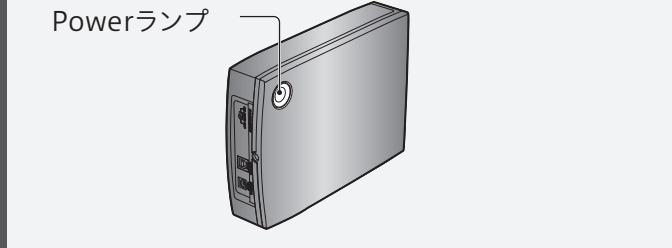
電源スイッチ
電源を下のように切り替えます。

DC IN
添付のACアダプターを接続します。

USBポート(B)
添付のUSBケーブルを接続します。

ON	パソコンの電源に連動せず、常に電源が入った状態になります。
AUTO	パソコンの電源に連動して、本製品の電源が入/切れます。
OFF	パソコンの電源に連動せず、常に電源が切れた状態になります。

縦置きする場合
Powerランプが上になるように立ててください。
※ 縦置きした場合、8cmメディアは使用できません。



動作環境/ハードウェア仕様

弊社Webページをご覧ください。

www.iodata.jp/product/storage/blu-ray/brd-ut16lx/spec.htm#spectop



使用上のご注意

- 本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。
- アクセラランプの点滅中は、パソコンをリセットしたり、電源を切ったりしないでください。故障の原因になったり、データが消失する恐れがあります。
- 一部のウイルス対策ソフトがインストールされていると、動作が不安定になる場合があります。
- 本製品は、パソコンの省電力機能には対応しておりません。
- 動作環境、推奨メディアの情報は、弊社ホームページをご確認ください。
- 推奨メディア以外を使用した場合は、メディアの品質により正常に書き込みできないことがあります。
- 弊社では記載の倍速メディアにてメディアの倍速を超える高速の書き込みを確認しておりますが、すべての環境についてメディアの倍速を超える高速の書き込みを保証するものではありません。また、メディアメーカーの本製品でのメディアの倍速を超える高速の書き込みに関するお問い合わせはご遠慮ください。
- 推奨メディアを使用し、動作環境を満たした場合でも、メディアの品質や環境によっては、ドライブの最大性能を発揮できない場合があります。
- 本製品で書き込みをおこなったBDメディアは、カートリッジタイプのBD-REメディアを使用するレコーダーでは使用できません。
- 本製品で作成したBD・DVDビデオは、ドライブ/プレーヤー/ゲーム機で再生可能ですが、一部再生できない機種があります。
- 本製品を長時間使用した場合は、いったんメディアを取り出し、数分おいてから使用してください。
- 本製品にメディアを入れたまま移動したり傾けたりしないでください。本製品やメディアを破損します。
- メディアの取り扱いについて、以下をお守りください。
 - ・メディアを直接持つときは光沢のある場所に触らず、両端をはさむようにして持つか、中央の穴と端をはさむようにしてください。
 - ・メディアに紙やシールなどを貼らないでください。
 - ・ひびの入ったメディアや反りかえってしまったメディアは絶対に使用しないでください。また、割れたメディアをテープ類や接着剤で貼りあわせて使用しないでください。高速回転しますので、欠陥のあるメディアは危険です。
 - ・メディアに異物がついていないことを十分確認の上、ドライブに挿入してください。
- レンズには触れないでください。
- 音とびやデータの書き込み・読み込み時の不具合の原因になります。
- 本体内部に液体、金属、たばこの煙などの異物を入れないでください。
- お手入れ方法
本製品についた汚れなどを落とす場合は、電源コードを抜いてから、柔らかいきれいな布で軽く乾拭きしてください。
 - ・汚れがひどい場合は、水で十分に薄めた中性洗剤に布をひたして、よく絞ってから汚れを拭き取り、最後に乾いた布で拭いてください。
 - ・ベンジン、シンナー、アルコール、消毒薬、化学ぞうきん、クリーナー/クリーニングペーパーなどは使わないでください。変質やひび割れなどの原因になります。

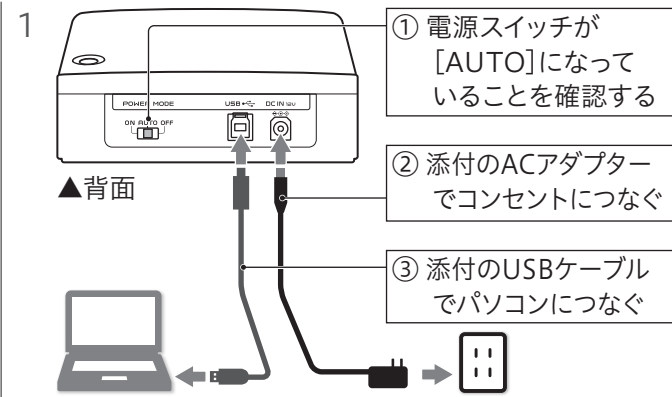
この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
VCCI-B

データの長期保存には「M-DISC」への書き込みをおすすめします

「M-DISC」は耐熱、耐湿、耐光性に優れており長期間の記録保持ができます。弊社直販サイト「アイオープラザ」でも販売中です。

<https://www.ioplaza.jp/>

つなぎ方



2 [PC]または[コンピューター]を開き、アイコンの追加を確認する

※ ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合、[はい]または[続行]をクリックしてください。

例 Windows 10、メディア未挿入、Gドライブの場合

※ ドライブ文字 (番号)は環境により異なります。
※ ドライブ名称は挿入されているメディアにより異なります。

アイコンが追加されていない場合

- ・ [表示]メニューの[最新の情報に更新]をクリックしてください。
- ・ ケーブルの接続が正しくおこなわれていることをご確認ください (パソコンの電源を切り、再度ケーブルを抜き差ししてください)。また、別のUSBポートに挿し直してください。
- ・ 接続先のパソコンをAC電源に接続してください。
- ・ USB/Aパズ延長ケーブルをお使いの場合は取り外し、パソコンのUSBポートに添付のUSBケーブルで直接つないでください。
- ・ 他のUSB機器を取り外してください。

アイコンが追加されていれば、本製品をお使いいただけます。
ソフトウェアを利用する場合は、右記「必要に応じてダウンロードソフトウェアを利用する」をご覧ください。

取り外し方

パソコンの電源が入っている状態で、本製品を取り外す場合は、以下の操作をおこなってください。

- 1 本製品のイジェクトボタンを押し、メディアを取り出す
- 2 USBケーブルをパソコンから取り外す
※ ケーブルを抜くときは、ケーブル部分を引っ張らず、コネクタを持って抜いてください。

必要に応じてダウンロードソフトウェアを利用する

1. ダウンロードするソフトウェアを確認する

BD/DVDビデオを作りたい

Roxio Creator

以下の製作がおこなえます。
・ブルーレイディスクに映像ファイルを書き込む
・DVDビデオを作成する
・デジタルビデオカメラから直接レコーディングする

再生したい

WinDVD UHD BD

以下の映像を再生できます。
・作成したオリジナルブルーレイディスクやDVDの映像
・市販のブルーレイディスク (Ultra HD Blu-rayディスク含む) やDVDの映像

データを保存したい

B's Recorder

簡単な操作でデータディスクや音楽CDなどを作成できます。

ハイレゾ再生したい

CurioSound for I-O DATA

ハイレゾコンテンツの再生や、CD音質音源をハイレゾ相当で高音質再生することができます。
※ ハイレゾ保存機能およびエフェクト (イコライザー) 機能は、利用開始から2ヵ月間、お楽しみいただけます。なお、ハイレゾ再生は2ヵ月後にご利用いただけます。
※ 利用期限のない製品版 (CurioSound) を特別価格にてご購入いただけます (本ソフトウェア上から優待販売ページに進むことができます)。

ソフトウェアをダウンロードする場合は、下記「2.IOPortalに本製品を登録する」へお進みください。

※ すでに上記ソフトウェアがインストールされている場合は、先にアンインストールしてからダウンロードした各ソフトウェアをインストールしてください。

2.IOPortalに本製品を登録する

1 ① Webブラウザより
<https://ioportal.iodata.jp/> にアクセス

初めてご利用いただく場合は、新規会員登録をお願いします
① [新規会員登録へ] ボタンをクリック
② メールアドレスを入力し、[この内容で送信する] をクリック
⇒ 会員登録用URLのメールが届きます。
届いたメール内にあるURLをクリックし、会員登録をおこなってください。会員登録後は、マイページにログインします。

2

① [登録製品] タブをクリック

② 本製品底面に記載のシリアル番号 (S/N) を入力

③ [製品を登録する] をクリック

以上で本製品の登録は完了です。次に右記「3.ソフトウェアをダウンロードする」へお進みください。

3.ソフトウェアをダウンロードする

1

2

3

4

Roxio Creatorのプロダクトキー

WinDVD UHD BDのシリアル番号

B's Recorderのシリアル番号

CurioSound for I-O DATAのアプリライセンスキー

シリアル番号 (プロダクトキー) はインストール時または初回起動時に必要です

シリアル番号 (プロダクトキー) はインストール中またはソフトウェアの初回起動時に入力を求められます。シリアル番号 (プロダクトキー) は以下のいずれかの方法で確認することができます。
・ソフトウェアをダウンロードすると送付されるメール
・上記手順4の画面
※ 製品本体に貼りつけられているシリアル番号 (S/N) とは異なります。

5 エクスプローラーなどからダウンロードしたファイルのある場所 (ダウンロードフォルダー等) を開く

6 ダウンロードしたファイルをダブルクリックし、解凍する

ソフトウェア名	実行するファイル名 ("X"には数字が入ります)
Roxio Creator	roxiocreatorbdXXX (.exe)
WinDVD UHD BD	windvdXXX (.exe)
B's Recorder	bsrecorderXXX (.exe)
CurioSound for I-O DATA	setup (.exe)

- ⇒ 自動的にインストールが始まります。
画面の指示にしたがってインストールします。
※ 自動的にインストールが始まらない場合は、デスクトップ上に追加されたフォルダー→[Setup (.exe)] または [インストールする (.exe)] ファイルの順にダブルクリックします。
※ ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[はい] または [許可] をクリックします。

インストール中または初回起動時に、シリアル番号やプロダクトキーの入力画面が表示された場合

上記手順4でメモした「シリアル番号」または「プロダクトキー」を入力します。シリアル番号 (プロダクトキー) はソフトウェアをダウンロードすると送付されるメールでも確認することができます。
※ 製品本体に貼りつけられているシリアル番号 (S/N) とは異なります。

以上でインストールは完了です。

WinDVD UHD BDをご利用になる前にPC環境をチェックしてください

お使いのPC環境でUltra HD Blu-rayの再生が可能かどうかをご確認いただけるチェックツールをご用意しております。下記URLよりダウンロードしてご利用ください。

<https://support.corel.com/hc/ja/articles/360008468793>

ソフトウェアの使い方についてはヘルプをご覧ください
本紙では、ソフトウェアの注意事項や使用例を紹介しています。各ソフトウェアの詳しい使い方は、各ソフトウェアをインストール後、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

※ B's Recorderの場合、初回起動時にソースネクスト社のユーザー登録画面が表示されます。ユーザー登録をおこなってご使用ください。

「画面で見えるマニュアル」でもソフトウェアの使用例を紹介しています
<https://www.iodata.jp/p/180005>

Windows 10、Windows 7では、ソフトウェアを使わなくてもメディアにデータを書き込むことができます
以下のURLから「【パソコン基本操作ガイド】光ディスクにデータを書き込む」をご参照ください。

https://www.iodata.jp/lib/manual/mastering_manual/#p1_1

AACSキーについて
ブルーレイディスクやAVCRECでは、著作権保護されたコンテンツを録画・編集・再生するために、著作権保護技術『AACS』を採用しています。
ブルーレイディスクやAVCRECを継続的にお使いいただくために、定期的に『AACSキー』を更新してください。
『AACSキー』は再生ソフトウェアからのメッセージにしたがい更新します (インターネット接続環境が必要です)。

更新しない場合には、著作権保護されたコンテンツの再生ができなくなる可能性があります。(著作権保護されていないコンテンツの再生は可能です)

今後、AACSキーの提供についての情報は、コーレルサポートセンターへお問い合わせください。

<https://www.corel.com/jp/support/>

【使用例】映像を保存しよう

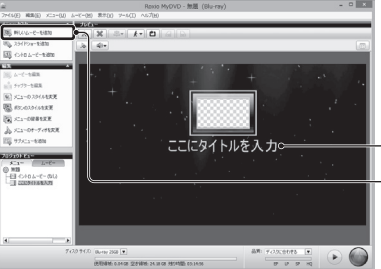
例：ハードディスクに保存したAVCHD映像をBlu-rayに保存する場合

1  [Roxio Creator Premier BD]をダブルクリック

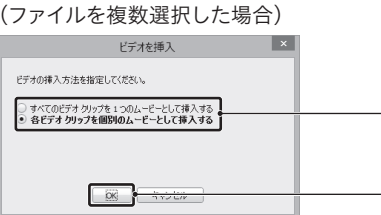
2  [DVDを作成]をクリック

3 本製品にメディアを入れる

4  [Blu-ray]をクリック

5  ① タイトルを入力
② [新しいムービーを追加]をクリック

6  ファイルを選択

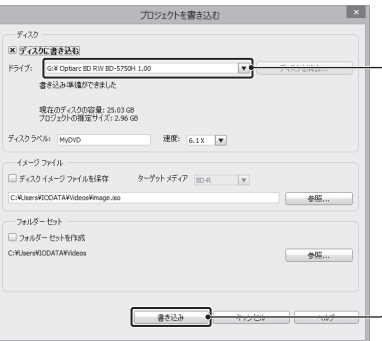
(ファイルを複数選択した場合)
 ① 選択
② [OK]をクリック

7  選択したファイルの表示を確認

Roxio Creator

8 ① [メニューのスタイルを変更]をクリック
② スタイルを選択
③ [OK]をクリック


9  をクリック

10  ① 本製品を選択
② [書き込み]をクリック

11 書き込みが終わると、完了画面が表示されます。

以上で、完了です。

【使用例】再生しよう WinDVD UHD BD

1  [Corel WinDVD UHD BD]をダブルクリック


2 本製品にメディアを入れる

3 自動で再生されます。

以上で、完了です。

DVDレコーダーで記録した地デジ放送を再生するには
CPRM技術で録画されたDVDメディアを初めて再生するには認証手続きが必要です。詳しくは以下のURLより「画面で見るマニュアル」をご覧ください。
<https://www.iodata.jp/p/180005> 

WinDVD UHD BD を使用するときの注意

- パソコン側グラフィック出力とディスプレイ側入力、共にHDMI2.0/HDCP2.2に対応している必要があります。また、4K解像度(3840x2160以上)60p映像出力時は、18Gbps対応のHIGH SPEED(カテゴリー2)HDMIケーブルをご使用ください。プレミアムHDMIケーブル認証を受けたケーブルをおすすめします。
- 以下の場合にインターネット接続環境が必要です。
 - ・WinDVD UHD BDインストール時
 - ・CPRM技術で録画されたDVDメディアを初めて再生する場合 (WinDVD UHD BDで[CPRM Pack]のダウンロードが必要です。※)
 - ・著作権保護技術(AACSキー)の更新時
- CPRM技術で録画されたDVDメディアを再生する場合※は、以下の環境を満たしている必要があります。
 - ◀グラフィックアクセラレータ>
 - ・最新のドライバがインストールされていること
 - ・HDCPIに対応したDVIもしくはHDMI、DisplayPortコネクタを搭載<ディスプレイ>
 - ・HDCPIに対応したDVIもしくはHDMI、DisplayPortコネクタを搭載
- 本製品のDVDのリージョンコードは、出荷時状態で「2」に設定されています。リージョンコードを変更した場合は、動作の保証をいたしかねます。
- ※ 操作手順については、本製品の「画面で見るマニュアル」をご覧ください。

困ったときには

■ BD/DVDビデオが再生できないのですが？

「WinDVD UHD BD」をダウンロードしてご利用ください。(本紙表面「必要に応じてダウンロードソフトウェアを利用する」参照)

■ Ultra UHD Blu-rayディスクの再生ができない場合

- ディスプレイ側の確認事項
 - ・ディスプレイによっては、一部の入力端子のみHDMI2.0やHDCP2.2に対応している場合があります。ディスプレイの仕様をご確認ください。また、他の入力端子に接続をお試しください。
 - ・ディスプレイのファームウェアを最新にしてみてください。
 - ・HDMI2.0やHDCP2.2を機能させるには、設定の変更が必要な場合があります。ディスプレイのマニュアルなどで、設定の有無などご確認ください。
 - ・ご使用のディスプレイの仕様については、ディスプレイのメーカー様にお問い合わせください。
- パソコン側グラフィックの確認事項
 - ・パソコン側のグラフィック設定を、解像度:4K(3840x2160)、リフレッシュレート60pHzにし、ご確認ください。それでも再生できない場合は、解像度やリフレッシュレートを他の値に変更してお試しください。
 - ・ご使用のパソコンのグラフィックの仕様については、パソコンメーカーにお問い合わせください。

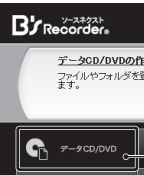
■ DVDレコーダーで記録した地デジ放送を再生したいのですがCPRMには対応していますか？

ドライブ単体としてCPRMには対応しておりますが再生にはCPRMに対応した再生ソフトが必要です。「WinDVD UHD BD」をダウンロードしてご利用ください。(本紙表面「必要に応じてダウンロードソフトウェアを利用する」参照)
また、再生にはパソコン側の著作権保護機能について対応が必要な場合があります。事前に環境をご確認ください。

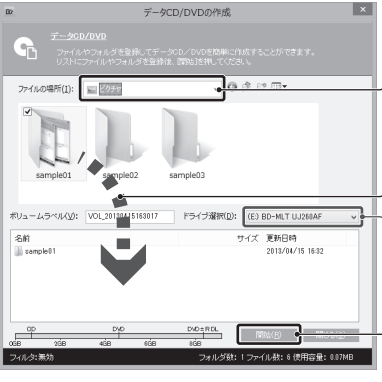
■ 「CPRMコンテンツを再生できません」のメッセージが表示された場合

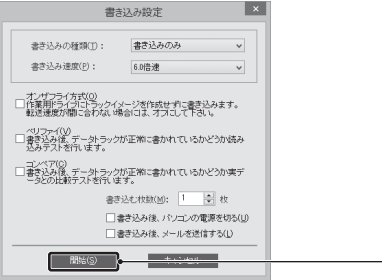
CPRM技術で録画されたメディアを初めて再生する場合、認証手続きが必要です。画面の指示にしたがってCPRM Packをダウンロードします。ダウンロード手順については、弊社Webページより「画面で見るマニュアル」をご覧ください。

【使用例】データを保存しよう B's Recorder

1  [B's Recorder]をダブルクリック
2  [データCD/DVD]をクリック

3 本製品にメディアを入れる

4  ① コピーするデータの場所を選択
② コピーするデータをドラッグ&ドロップ
※ ドライブが複数ある場合に選択
③ 選び終わったら[開始]をクリック

5  [開始]をクリック

6 書き込みが終わると、完了画面が表示されます。

以上で、完了です。

B's Recorder を使用するときの注意

- 分割記録でファイルの分割はできません。
- BDXLの作成には、対応したドライブ、メディアが必要です。
- 他社製のパケットライトソフト、ライティングソフトとは併用できません。
- コピー機能を使用し、コピーコントロールCD(CCCD)やレーベルゲートCD、市販のDVDなどをコピーすることはできません。
- 著作権保護の付加されている音楽、動画ファイルの編集はできません。
- 著作物を、著作権者の許可なしに利用することは法律により禁じられています。本ソフトウェアを使用してマルチメディアコンテンツやそのCDを作成する場合は、著作物の使用許諾条件に関する注意事項に従ってください。
- リッピング機能には、MP3/MP3HD形式のファイルの作成に関し、使用回数と使用日数に制限があります。
- 本製品以外での使用は動作保証対象外となります。

アフターサービス

重要 ● 本製品の修理対応、電話やメール等によるサポート対応、ソフトウェアのアップデート対応、本製品がサーバー等のサービスを利用する場合、そのサービスについては、弊社が本製品の生産を完了してから5年間を目途に終了とさせていただきます。ただし状況により、5年以前に各対応を終了する場合があります。

● 個人情報 は、株式会社アイ・オー・データ機器のプライバシーポリシー(<https://www.iodata.jp/privacy.htm>)に基づき、適切な管理と運用をおこないます。

お問い合わせ方法

ドライブ本体 で困ったら・・・

1 お問い合わせいただく前に以下をご確認ください
▶ <https://www.iodata.jp/support/>
① 「Q&A よくあるご質問」を参照
② 最新のソフトウェアをダウンロード 

2 それでも解決できない場合は、弊社サポートセンターへ 

電話 ▶ 050-3116-3020
受付時間 9:00～17:00 月～金曜日
(祝祭日・年末年始・夏期休業期間をのぞく)

メール ▶ <https://www.iodata.jp/support/after/esupp.htm> 

ソフトウェアの使い方 で困ったら・・・

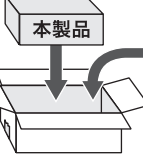
- 1 ソフトウェアを起動し、ヘルプを確認する
- 2 各社の Web ページでサポート情報を確認する
- 3 それでも解決できない場合は各ソフトウェアメーカーへ

ソフトウェア	お問い合わせ先
Roxio Creator	コーレルサポートセンター 電話 0570-003-002 ※ 受付時間 10:00～12:00/13:30～17:30 月～金曜日(土日祝祭日ならびにコーレル社指定休業日を除く) ※ お問い合わせの際にシリアル番号が必要な場合があります。シリアル番号はソフトウェアをダウンロードすると送付されるメールか、IOPortalのマイページにて確認できます。 メール https://www.corel.com/jp/support/
WinDVD UHD BD	ソースネクスト株式会社 メール http://www.sourcenext.info/ ※ 上記URLに掲載されている専用のメールフォームにてお問い合わせください。
B's Recorder	株式会社デジオン カスタマーサポート メール ds-support@digion.com インターネット https://support.digion.com/cs/curiosound/
CurioSound for I-O DATA	

修理を依頼する方法

保証期間 1 年間

以下を梱包し、修理センターへお送りください

 本製品
レシート、納品書など 購入日を示すもの または保証書 + メモ ・名前・住所 ・TEL / FAX番号 ・メールアドレス・症状
※メモの代わりにWeb掲載の修理依頼書を印刷すると便利です。

〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
株式会社 アイ・オー・データ機器 修理センター 宛
※厳重に梱包してください。
弊社到着までに破損した場合、有料修理となる場合があります。
※紛失をさけるため宅配便でお送りください。
※送料は、発送時はお客様ご負担、返送時は弊社負担です。

【見損無料】有料修理となる場合は、先に見損をご連絡します。金額のご了承をいただいから、修理いたします。
【データ】内部にデータがある場合、厳密な検査のため、内部データは消去されます。何卒、ご了承ください。バックアップ可能な場合は、お送りいただく前にバックアップしてください。弊社修理センターではデータの修復はおこなっていません。
【シール】お客様が貼られたシールなどは、修理時に失われる場合があります。
【保証内容】ハードウェア保証規定をご確認ください。
【控え】製品名とシリアル番号(S/N)はお手元に控えておいてください。
【修理について詳しくは】以下のURLをご覧ください(修理依頼書はここから印刷できます)。
▶ <https://www.iodata.jp/support/after/>

【ドライブ本体のユーザー登録はこちら】…<https://ioportal.iodata.jp/>
ユーザー登録にはシリアル番号(S/N)が必要となりますので、メモしておいてください。シリアル番号(S/N)は本製品貼付のシールに印字されている12桁の英数字です。(例:ABC1234567ZX)

【著作権】
この製品またはソフトウェアは、あなたが著作権所有者であるか、著作権所有者から複製の許諾を得ている素材を制作する手段としてのものです。もしあなたが自身が著作権を所有していない場合か、著作権所有者から複製許諾を得ていない場合は、著作権法の侵害となり、損害賠償を含む補償義務を負うことがあります。御自身の権利について不明確な場合は、法律の専門家にご相談ください。

【商標について】
記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。

【本製品の廃棄について】
本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

- 【ご注意】
- 1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
 - 2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関わる設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品が使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
 - 3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。[This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.]
 - 4) 私的使用のための複製など著作権法上認められた場合を除き、本製品を使用して作成した画像、音声等を、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
 - 5) 著作権を侵害するデータを受信して行うデジタル方式の録画・録音を、その事実を知りながら行うことは著作権法違反となります。
 - 6) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にいかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

【マニュアルアンケートはこちら】
よりよいマニュアル作りのためアンケートにご協力願います。

